

OpenStaging技術解説書【別表】


R 1.0.0

2006 年 2 月



OpenStaging

商標

本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
なお、本文中にはTM、マークは明記しておりません。

1.全体で使用するキーワード	1
2.ルックアップで使用するキーワード	2
3.ルックアップ除外処理で使用するキーワード	2
4.Load処理で使用するキーワード	2
5.DimensionLoad処理で使用するキーワード	2
6.FactLoad処理で使用するキーワード	3
7.プロセスのフローチャート	4

1. 全体で使用するキーワード

・関連メソッド: SQLCreatorDAO.prepareProperties
 ・基本処理: 対応するメソッドの戻り値でキーワードを置き換える。
 ・*プロシージャ内の各キーワード使用箇所は、'/WEB-INF/conf/sql/xx_etl_templates.sql' を参照

・SQLCreatorDAOで実装、 ・各DBのCreatorDAOで実装

キーワード	意味	対応するメソッド	pg	my	orcl	備考
procedure name	プロシージャ名(関数名)					
lookup_remove_totable_declares	ルックアップオブジェクト毎に除外時にテーブル出力するかどうかを定義する変数の宣言	generateLookupRemoveToTableDeclares				
lookup_remove_tofile_declares	ルックアップオブジェクト毎に除外時にログファイル出力するかどうかを定義する変数の宣言	generateLookupRemoveToFileDeclares				
lookup	ルックアップが行われるかどうかを判定する値	lookups				
lookup_noexist_declares	ルックアップオブジェクト毎に除外するか置換するかを定義する変数	generateLookupNoExistDeclares				
lookup_result_declares	ルックアップ結果が格納される変数の宣言	generateLookupResultDeclares				
lookup_fail_count_declares	ルックアップオブジェクト毎に失敗件数を格納する変数の宣言	generateLookupFailCountDeclares				
my_extract_declares	Extract結果の変数宣言宣言	generateExtractDeclares				
my_dimension_declares	Dimension用の変数	generateDimensionDeclares				
max_error	許容エラー件数					
stop_flg	処理中止フラグの値					
commit_count	コミット件数					
load_truncate	ロード時にtruncateを行うかどうか					
load_update	ロード時にupdateを行うかどうか					
transform_fix_declare	トランスフォーム結果を格納する変数の宣言	generateTranformFixDeclare				
extract_select_statement	extractのselect文	generateSelectSQL				
my_fetch_vars	fetchの際の変数	generateFetchVars				
transform_db_statements	transformの文	generateTransformDbStatements				
lookup_result_init_statements	ルックアップを行う前に結果変数を初期化する文	generateLookupResultInitStatements				
lookup_statements		generateLookupStatements				別テンプレートを 使用 [ルックアップ処理で使用するキーワードを参照]
load_statements		generateLoadStatements generateDimensionLoadStatements generateFactLoadStatements				別テンプレートを 使用 [Load処理で使用するキーワードを参照]
load_difference_update_statement	差分更新で更新されていないレコードを削除する文	generateDifferenceUpdateSQL_2				
dimension_check_result_declare	Dimensionで処理の分岐を判断するための変数の宣言	dimension_check_result_declare				
fact_declares	ファクトに必要な変数の宣言	generateFactDeclares				
lookup_remove_statements						別テンプレートを 使用 [ルックアップ除外処理で使用するキーワードを参照]
load_truncate_statements	ターゲットテーブルのtruncate文	generateTruncateSQLs				
sequence_step	シーケンスのカウントアップ頻度					
sequence_name	シーケンス名	createSequenceName				
JobId	ETLJobId					
load_error_type_columns	insert error時の情報を格納する構造体の宣言	generateColumnsOfInsertErrorDeclare				
load_error_log_set_statements	上記構造体にエラー情報をセットする文	generateInsertErrorSetStatements				
load_insert_error_statement	構造体配列からテーブルにinsertするSQL	generateInsertErrorLastSQL				

2. ルックアップ処理で使用するキーワード

- ・関連メソッド: SQLCreatorDAO.generateLookupStatements
- ・基本処理: 対応するメソッドの戻り値でキーワードを置き換える。
* プロシージャ内の各キーワード使用箇所は、`/WEB-INF/conf/sql/xx_etl_lookup_templates.sql` を参照

ルックアップの個数分だけ、ルックアップ部分のプロシージャを生成する。

キーワード	意味	対応するメソッド	備考
lookup_select_statement	ルックアップ時のselect文	generateSelectSQL	
lookup_replace_statement	ルックアップ時の置換文	generateLookupReplaceStatement	
lookup_workobject_index	添え字		
lookup_fail_count_statement	ルックアップ失敗時のカウントアップ文	generateLookupFailCountStatement	

3. ルックアップ除外処理で使用するキーワード

- ・関連メソッド: SQLCreatorDAO.generateLookupRemoveStatement
- ・基本処理: 対応するメソッドの戻り値でキーワードを置き換える。
* プロシージャ内の各キーワード使用箇所は、`/WEB-INF/conf/sql/xx_etl_lookup_remove_templates.sql` を参照

ルックアップの個数分だけ、ルックアップ部分のプロシージャを生成する。

はSQLCreatorDAOで実装、は各DBのCreatorDAOで実装

キーワード	意味	対応するメソッド	pg	my	orcl	備考
lookup_workobject_index	添え字					
error_record_statement	エラーレコードを生成する文	generateErrorRecordStatement				
lookup_no_exist_statement_file	エラーレコードのinsert文(logテーブル)	generateLookupNoExistStatementFile				
lookup_no_exist_statement	エラーレコードのinsert文(logテーブル以外)	generateLookupNoExistStatement				

4. Load処理で使用するキーワード

- ・関連メソッド: SQLCreatorDAO.generateLoadStatements
- ・基本処理: 対応するメソッドの戻り値でキーワードを置き換える。
* プロシージャ内の各キーワード使用箇所は、`/WEB-INF/conf/sql/xx_etl_load_templates.sql` を参照

キーワード	意味	対応するメソッド	備考
load_insert_statement	load時のinsert文	generateInsertSQLs	
load_update_statement	load時のupdate文	generateUpdateSQLs	
load_insert_error_statement	insert error時のログテーブルへのinsert文	generateInsertErrorSQL	
load_insert_error_statement_on_exception	insert error時の例外発生用insert文	generateInsertErrorSQLOnException	
load_insert_error_statement2_on_exception		generateInsertError2SQLOnException	PostgreSQLのみ
load_difference_update_statement	差分更新用SQL	generateDifferenceUpdateSQL_1	

5. DimensionLoad処理で使用するキーワード

- ・関連メソッド: SQLCreatorDAO.generateDimensionLoadStatements
- ・基本処理: 対応するメソッドの戻り値でキーワードを置き換える。
* プロシージャ内の各キーワード使用箇所は、`/WEB-INF/conf/sql/xx_etl_load_dimension_templates.sql` を参照

キーワード	意味	対応するメソッド	備考
dimension_check_statement	ターゲットテーブルから現在の値を取得するSQL	generateDimensionCheckSQL	
dimension_check_nbt_expr	履歴管理カラムが変更されているかどうか判定する式	generateDimensionCheckNbtExpr	
dimension_check_other_expr	履歴管理以外のカラムが変更されているかどうか判定する式	generateDimensionCheckOtherExpr	
JobID	ETLJobID		
dimension_insert_statement_1	ターゲットテーブルへのinsert文	generateDimensionInsertSQL_1	
dimension_insert_statement_nbt_1	新規データの際にNBTにinsertするSQL	generateDimensionNbtInsertSQL_1	
dimension_update_statement_nbt_1	履歴管理カラムが変更されているときに、NBTをupdateするSQL	generateDimensionNbtUpdateSQL_2_1	
dimension_update_statement_nbt_2	履歴管理カラムが変更されているときに、NBTをupdateするSQL	generateDimensionNbtUpdateSQL_2_2	
dimension_update_statement_3	履歴管理外のカラムが変更されている際に、ターゲットテーブルをupdateするSQL	generateDimensionUpdateSQL_3	
dimension_update_statement_nbt_3	履歴管理外のカラムが変更されている際に、NBTをupdateするSQL	generateDimensionNbtUpdateSQL_3	
load_insert_error_statement_on_exception	insert error時の例外発生用insert文	generateInsertErrorSQLOnException	
load_insert_error_statement2_on_exception		generateInsertError2SQLOnException	PostgreSQLのみ

6. FactLoad処理で使用するキーワード

・関連メソッド: SQLCreatorDAO.generateFactLoadStatements

・基本処理: 対応するメソッドの戻り値でキーワードを置き換える。

* プロシージャ内の各キーワード使用箇所は、「/WEB-INF/conf/sql/xx_etl_load_dimension_templates.sql」を参照

キーワード	意味	対応するメソッド	備考
load insert statement	ターゲットテーブルへのinsert文	generateInsertSQLs	
fact get key statements	サロゲートキーを取得する文	generateFactGetSKeyStatements	
fact date expression	各処理レコードでの日付の式	generateFactGetDateExpression	
load insert error statement on exception	insert error時の例外発生用insert文	generateInsertErrorSQLOnException	
load insert error statement2 on exception		generateInsertError2SQLOnException	PostgreSQLのみ

7. プロシージャのフローチャート

